

2019年(平成31年)2月28日(木曜日)

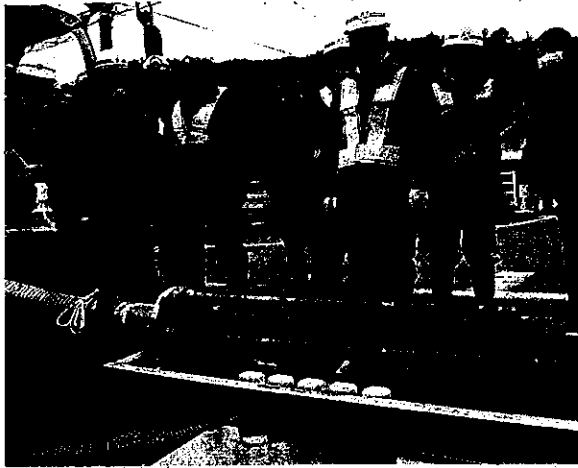
# 栃木県初、アイスピクで配水管内を洗浄

那珂川町上下水道課

那珂川町上下水道課は、6日、アイスピク管内洗浄工法で矢又地内の配水管を洗浄した。施工は、アイスピク関東地域協会会員である宇都宮文化センター(宇都宮市、阿部欣文社長)が担当した。

栃木県で初の施工として、近隣の自治体からも注目を集め、50人近い見学者が立ち会った。洗浄箇所は、ゆげ、延長600以上のタクスタイル管(宇都宮市、阿部欣文社長)が担当した。洗浄に使用したのは、塩と水から成る含水率

72%の特殊アイスシャーベット(SIS)で、運搬専用車「デリバリーユニット」(2.2m×1.0m)であったが、アイスピクは安心して実施することができた。また、管内カメラ調査で洗浄前と洗浄後の管内の状況を自分の目で確認できるため、管内の洗浄度合いを実感することができ、非常に満足している。また今後は、



クリア管を通じて洗浄効果を視認

## 長年の汚れも短時間できれいに

やバイオフィルムが管内に堆積したことも原因と考えられたため、洗浄が必要だと判断した。洗浄工法の条件として、管の口径が小さく距離が長いので、詰まる恐れのないこと、また消火栓と空気を通して洗浄剤などの注入・排出ができることが挙げられ、さまざまな洗浄工法のなか

他の箇所についても実施を検討していきたい」と話した。宇都宮文化センターの阿部社長も「当社として初めてのアイスピク管内洗浄作業でしたが、短時間の断水時間で長年付着した管内の夾雑物をきれいに取ることができ、那珂川町さんにも大変喜んでいただけたことができて、長70歳を突破し、着々と実績を伸ばしている。



洗浄に使用したデリバリーユニットと特殊アイスシャーベット

いたをモニタリングし、洗浄効果を視認するために設けられたクリア管を通じて、汚れを包み込んだSISが茶褐色に変化する様子に、見学者からは感心する声が上がった。SISの注入から付着物の回収までの一連の工程に要した時間は、わずか30分だった。